

令和5年度の事業報告書

NPO法人千葉こども家庭支援センター

1 事業の成果

(1) フリースクール事業

- 学校の保健室登校や適応指導教室などにも通えない児童生徒に学校の時間帯に安心して過ごせる場所を提供できた。また、不登校の期間によって学習の進度はまちまちであるが、パソコン教材を使って個別に学習指導をすることで、学習が効果的に進められた。
- 令和5年度末には中学3年生が7名在籍していたが、全員が高等学校（内3名は通信制）に進学した。
- 6人の児童生徒が在籍校に通えるようになった。
- フリースクールに通った児童生徒の延べ日数人数は小学5年生から中学3年生まで2,143人であった。今年度は通常通り4月から学校が始まっている。それぞれ理由は違うが、多くの子どもたちが参加でき、学校への復帰ができた子どももいた。

(2) 教員採用選考講座（13名が参加）

- 今年度は昨年に引き続き、集団面接の受け方を6月に、個別面接の受け方と模擬授業演習を夏休みに実施した。
- また、参加者数は広報の効果もあり増えた。

(3) 相談事業

ア 相談事業

- 来室での相談やメールでの相談など多くの相談があった。
- 講演会後に相談に希望も多くあった。
- 生浜公民館主催の教育相談の依頼があり、1人当たり2時間半の相談を4回実施した。

イ 講演事業（HSC（Highly Sensitive Child）理解等）

- 市原市教育研究会小学校教育相談部会研修
- 千葉市母と女性教員の会記念講演
- 長岡市前川小学校校内研修会
- 船橋市新任生徒指導主事研修
- 新潟県南魚沼学校保健会研修
- 狛江市学童クラブ職員研修
- 厚木市青少年健全育成大会講演会
- 諏訪学校保健会養護教諭部会研修会
- 千葉市生涯学習センターHSC 講座（全4回）
- 横浜市緑区ママのハートバランス講座

(4) 調査研究事業

- 「不登校児童生徒の学習支援とフリースクールとの連携事業」についての調査研究を受託し3月に報告をした。
- インターネットを活用した教材についての調査研究と学校や家庭との連携についての調査研究を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
フリースクール事業	不登校の小中学生が午前、午後に分かれて学習を行う。心配事などに相談は希望により行う。	学校のあ る日	当センター	3人	不登校の小中学生 延べ日数人数 2,143人
教員採用選考講座	教員採用選考のための 集団面接や個別面接の 受け方や模擬授業の進 め方について対面での 講習を行い、面接は演習 を行う。	6月1日 ～8月20 日の2日 間、また 希望によ り日程を 追加する	当センター	2人	教員採用選考受 検者13人
相談事業	・子育て相談、不登校の 相談、HSC相談 ・HSC講演	4月1日 ～3月31 日不定期 (依頼 日)	当センター他 依頼施設	2人	相談及び講演会 参加者を含め約 1,000人
調査研究事業	不登校児童生徒にイン ターネットを活用した 学習支援を行い、学習の 機会を確保するととも にインターネットを活 用した学習支援をする 際の留意事項や望まし い学校・保護者との連携 の在り方について検証 する。	4月7日 ～3月31 日	当センター	3人	フリースクール に通う千葉市内 の小中学校に籍 を置く不登校児 童生徒及び在籍 校、家庭

(2) その他の事業（定款に「その他の事業」として定めている場合のみ）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
なし				